

森のおくりもの11月



カケス（カラス科）



カケスは冬の食糧不足にそなえてドングリを草かげや木の根元などにたくわえる習性があります。

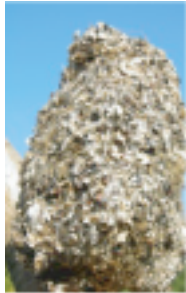
写真：佐藤博美さん（宮城野区）

自然観察の森は、すっかり晩秋の装いとなり、いろいろな冬鳥の姿もちらほら見かけるようになってきております。ひんやりと澄みきった空気の中、落ち葉を踏みしめる音と野鳥の鳴き声をバックに、足早に冬へと移りかわる森の自然をしばし楽しんでいただければと願っております。（館長 菊池正行）

まるまる・ふわふわ エナガ（柄長）



朝と昼の気温差が大きくなってきましたね。冬鳥もやってきており、カラ類は混群をつくってにぎやかになってきました。今回は、混群の中でも、とびきりかわいい♡エナガの紹介です。



エナガの巣

巣は、主にコケ類をクモの糸で丸くまとめた袋状の形。内部は、よく見つけたな、と思うほど羽毛がいっぱい。外部はウメノキゴケをちりばめてあります。ふわふわした柔らかそうな巣。

エナガは冬に群れて行動する際につがい相手を見つけます。春もまだ浅い頃にオスは一足早く群れからメスを連れ出し繁殖をはじめます。ヒナが生まれたあとオスはエサを取りに行くなどして育児（育雛？）に協力的。子どものいないペアも「ヘルパー」として手伝いにきてくれる仲良しなエナガ社会です。

近頃、小鳥たちは冬を目前に必死なのか、手が届きそうなほど近くの枝にとまったり、目の前でぶら下がったりしてくれます。混群に囲まれる数分間は、鳥と人間の距離がとても縮まった気がして、何とも不思議な幸せな気分になります。

エサのメニュー

小さい虫
クモ
草の種子
木の实
たまに樹液
とくにアブラムシ
が大好き



片足でぶら下がり虫をつかんで食べることもできちゃうぞ

群れるの大好き♡

目の付け所が違う者同士が集まれば、敵と食べ物の発見が効率的です。

混群にであったら、エナガはどこにいるか確かめてみてください。きっと木の梢の方にいますよ。地面付近にはシジュウカラ。樹幹にいるのはコゲラです。敵の猛禽類をいち早く見つけるのはエナガでしょうか？



全長の半分が（約7cm）尾羽

ほんとに小さな嘴

【全長：約14cm】

【体重：約5.5-9.5g】

♪チーチー
ジュリリ

【レンジャー：黒川周子】

混群：異なる種類の野鳥が、一つの群れとなって行動すること。メンバーはシジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、メジロなど、コガラやキクイタダキがいることもあります。

11月の生物ごよみ

野鳥

	10月		11月		12月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
アオジ	-----		-----		-----
カシラダカ	-----		-----		-----
ジョウビタキ	-----		-----		-----
ベニマシコ	-----		-----		-----

冬鳥の一番手ジョウビタキがヤマツツジの丘にて10月21日に初確認できました。10月26日にはセンター裏の木道付近にてアオジを確認。これから続々と冬鳥たちがやってきます。バードウォッチングの季節到来です。
【レンジャー：齋 正宏】

ドングリクッキーの作り方

今年はドングリが大豊作だったのでドングリを使いドングリクッキーを作ってみました。とても美味しく出来たので作り方をご紹介しますね。

材料

ドングリ100g（皮をむいたもの）小麦粉100g 砂糖40g バター60g
塩ひとつまみ 重層小さじ2

- ①拾ってきたドングリを水に浮かべ沈んだものだけを使用します。
- ②ドングリの皮をむく。（今回はコナラのドングリを使用）
- ③むいたドングリをゆでる。はじめは重層小さじ1ほど入れ、煮汁が茶色になったらお湯を捨てまた煮る。その後、何度も水を交換し洗みがとれるまで煮る。
- ④洗みが消えたら一晩水にさらし、翌日ザルにあげて天日干しする。
- ⑤フライパンで乾煎りする。乾煎りしたものを細かくくだく。（粒々感が残るくらいに粉にする。）これで下処理完了！！このくらいすると30gくらいの粗目の粉になります。
- ⑥ドングリの粉に小麦粉、砂糖、塩をいれてよく混ぜる。
- ⑦バターを入れ、あまり練りこまずさっくりとまとめる。
- ⑧好きな形に型を抜き、クッキングシートを敷き、オーブンで170℃に予熱し、20分焼き上げます。

粒々感が美味しいサクサクの『ドングリクッキー』の完成です！

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思ひます。

はっけんメモ その6

『花が開かなくても種になる！？ ～閉鎖花のひみつ～』

へいさか

花は種を作るために咲いて、虫や風などに花粉を運んでもらいます。でも、つぼみのままだったのにいつの間にか種になってしまう花もあります。 ”閉鎖花” と呼ばれる自家受粉に特化した花をつける植物です。



センボンヤリ<千本槍>
春は開放花、秋は閉鎖花をつける。



キッコウハグマ<亀甲白熊>
秋に開放花と閉鎖花を同時に咲かせる。

植物は、花びらや蜜、花粉などを作るために、たくさんの栄養を消費します。花が咲いても、天気や花粉を運んでくれる昆虫の飛来などの条件が必要なので、受粉できない花も出てきます。

一方、閉鎖花は花びらを作る必要がなく、植物によっては花粉の量も少なくするなど、開放花をつけるときよりも少ない栄養で花を生産できます。また、花の中でほぼ確実に自家受粉ができるため、たくさんの種子が生産可能です。

じゃあ、わざわざ花を咲かせなくてもいいじゃないか、という声が聞こえてきそうですが、そこには植物の知恵が隠れています。「閉鎖花」が親の性質を受け継いだ種子を、確実に生産する「量」の担当だとすると、「開放花」は遺伝子の多様性を受け持つ”質”の担当。

開放花と閉鎖花、両方の特徴をうまく組み合わせて、確実に子孫を残す。植物のしたたかな一面でしょうか。

【レンジャー：河合 遥】



ミゾソバ<溝蕎麦>
秋に開放花と閉鎖花を同時に付ける。
地面近くに付く閉鎖花は、土に潜り結実する。



新人レンジャーの巡回日記



気温も低くなり、肌寒さも感じられるようになってきました。自然観察の森でも木々の葉が赤や黄色に色付き、晩秋の雰囲気を目ごとに濃く映し出してきています。森の中で観られる花や植物も段々と少なくなる中での巡回も、少し寂しさがありますが、そんな中でも私にとって初めてのものを見つけたので今回は、それをご紹介します。



エカキ虫が描いた絵



緑色の葉の縁や中に白い線で描かれた（書かれた）ような模様が見えます。これは、ハモグリバエ（ナモグリバエ）という虫等の幼虫が葉っぱの中を食べながら進んでいった後にできる筋状の模様なのですが、それがまるで、字を書いたり、絵を描いたりした時のように見えることから、別名ジカキムシ（エカキムシ）と呼ばれています。よく見ると、線の太さが違うことが分かります。これは、食べ始めの頃の線は細く、食べ続けて幼虫が大きく成長していくごとにだんだんと太くなっていきます。描き（書き）あがった葉を見ると、世界地図のようだったり、誰かのサインのようだったりといろいろな形に見えておもしろいです。

葉っぱの周りを行ったり来たり



ハモグリバエ



10月11日（土）に「きのこ観察会」のイベント行われました。今回は、きのこ自体の発生が少ないのでは？という感じでしたが、参加した子供たちを中心に全員で目を凝らして探しながら歩いたところ、何と50種類近くのきのこを見つけることができました。どんな名前のキノコなのか等について、講師の方の解説を聞きながら、楽しく観察することができました。

※イベントによっては、申し込みが必要なことがありますので、詳しくは、「イベントのお知らせ」でご確認下さい。 【レンジャー：鷺 千尋】



11月のイベント & お知らせ

◆「鉤取山ネイチャーウォキング」

・紅葉の鉤取山を、講師のお話を聞きながらゆっくり歩きます。

【日 時】11月15日(土) 10:00~15:00

【定 員】20名

【持ち物】歩きやすい服装、昼食、飲み物、雨天時は雨具(カッパ)

【申込み】11月6日(火) 午前9時から電話で受付〔先着〕



◆「晩秋の蕃山ハイキング」

・自然観察の森を飛び出して、秋の深まりを感じながら蕃山に登ります。

【日 時】11月22日(土) 9:30~14:30

【定 員】20名

【持ち物】歩きやすい服装と靴、昼食、飲み物、雨天時は雨具(カッパ)

【申込み】11月7日(金) 午前9時から電話で受付〔先着〕

※集合場所および解散場所は、**茂庭台市民センター前**です。



◆12月から小鳥のレストランをひらきます！

・12月1日よりバードフィーダーを設置します。観察センター研修室の窓から野鳥を眺めることができますよ。おたのしみに！

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

11月の開催日は2日、9日、
16日、23日、30日です。

開催時間：午前 10:00~11:30
午後 13:30~15:00

◎30日の午後は、自然観察センター館長がご案内します。
申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね！
レンジャーからのプレゼント
があるよっ！

イベント申込用



11月の休館日

4日、10日、
17日、25日

♪森へおいでください♪



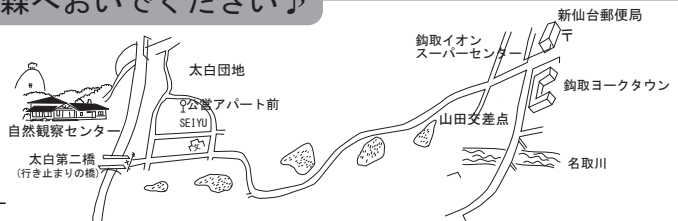
宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



スタッフBLOG開始しました！
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック！

2014年11月号(毎月1回5日発行)
発行：(公財)仙台市公園緑地協会
編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭台生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133
E-mail: taihakan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>